

八雲町  
公共施設等総合管理計画  
(公共施設白書編)

平成28年3月

目次	ページ
1. はじめに	1
2. 八雲町の概要	
(1) 町の概況	2
(2) 町のおいたち	4
(3) 人口動向	5
(4) 財政の現状分析	7
3. 公共施設の状況	
(1) 公共施設の分類	10
(2) 公共施設（建物）の状況	11
(3) 資産老朽化の状況（全体）	14
(4) 取得年度別の建物取得価額	15
(5) 公共施設（建物）の地域別分布状況	16
(6) 耐震化の状況	18
(7) 避難施設の状況	19
(8) バリアフリーの状況	20
4. 公共施設の種類の状況	
(1) 行政施設	22
(2) 保健・福祉施設	24
(3) 医療施設	26
(4) 地域会館	28
(5) 町営住宅	32
(6) 産業・観光施設	35
(7) 社会教育施設	37
(8) 体育施設	40
(9) 学校教育施設	42
(10) 教職員住宅	45
(11) 消防施設	46
(12) 公園施設	48
(13) 環境衛生施設	49
(14) その他の施設	50

5. インフラ系施設の概要	
(1) 道路	52
(2) 橋梁	54
(3) 公園	55
(4) 上下水道施設	57
6. 公共施設等の更新等に係る中長期的な経費の見込み	
(1) 公共施設（建物）の建築年度別の状況	58
(2) 公共施設等の老朽化の状況	69
(3) 公共施設資産更新必要額	60
7. 公共施設等の現状まとめ	
(1) 公共施設等の改修・更新等への対応	63
(2) 人口減少・少子高齢化社会への対応	63
(3) 逼迫する財政状況への対応	63

## 1. はじめに

本町では、高度経済成長期からバブル期かけて、行政需要や住民ニーズの高まりにより、多くの公共施設を整備してきました。その結果、多くの公共施設を保有し、町民の利便性が向上した一方、公共施設を取り巻く環境の変化等への対応が求められています。

これらの施設の多くは建設から 20 年以上が経過し、経年劣化による老朽化を順次迎えることから、改修や改築費用が町財政にとって大きな負担になることが予測されます。

また、今後においても人口減少や少子高齢化の進行が予想され、扶助費などの社会保障費が増加する一方で、町税などの歳入の伸びが期待できないことから、限られた財源の下で公共施設をどのように運営、維持していくのか、その対策が大きな課題となっています。

こうした状況の中、各施設の維持管理や運営については、各所管課によって行われており、全庁的な公共施設の現状や運営状況などを横断的に分析、課題の整理等を行い、公共施設のマネジメントに取り組んで行く必要があります。

本白書は、町の保有する公共施設について、その機能や配置、経年劣化や利用状況など、公共施設の現状を把握するため作成しました。

今後は、本白書を活用し、適正な施設配置や長寿命化を含めた維持管理など、将来を見据えた公共施設のあり方について検討、協議するための基礎資料として活用してまいります。